一般質問

うすい孝彦

◎ 旧八十二銀行池田支店ATMの 設置継続を ！

薄 井　旧八十二銀行池田支店のATMは来年5月14日までとされている。現ATMは通帳繰り越し機能がないなど不便である。高齢者が町内で通帳繰り越しができるよう銀行と交渉を。

振興課長　ATM設地場所を決め、銀行と協議する。

◎ 市民農園の 積極的なPRを ！

薄 井　市民農園をPRし、町外の利用者が増えれば移住定住に役立つ。町のホームページの表面の動画画面でPRを。

建設水道課長　町のホームページでロケーションの魅力も伝えられよう取り組む。

◎ ネオニコチノイド系農薬を使う 社口原でのブドウ栽培の 見直しを ！

薄 井　町農業振興協議会の中間答申では社口原でブドウ栽培を行うとしている。ブドウ栽培ではネオニコチノイド系農薬（殺虫剤）を使うことになる。同剤は人間の脳や神経系に影響を及ぼすので国でも使用禁止を検討している。社口原は環境再生型有機農業が学べるオーガニック農場にすべきである。

町　長　県から農薬の安全性が示された。果樹栽培は費用対効果が大きく推奨・支援していく。オーガニック農場は町民からの提案なので検討している。

薄 井　仮に農薬を使うブドウ栽培を行うのであれば、社口原の下流（坂下）で伏流水を飲料水として利用している4軒に水道水に替えていただくよう話しをせざるを得ないと思うが、どうか。また、その場合の費用は町で負担すると聞いているが、その額を問う。

町　長　ブドウ栽培で農薬を適正に使用する限り水道組合が活用する地下水に影響はないと考える。平成23年水道を引く場合は1戸10万円を支払うことを回答しており、今も有効と考える。

薄 井　今でも農薬使用反対の地域住民がいることを認識して欲しい。ネオニコチノイド系農薬は水に溶け易く、分解しにくいと言われている。社口原の土質は水が浸みこみ易いと言われており、地下水に影響ないとは言い切れない。もし実際に水道を引く場合、費用から10万円の差額分は町で補償すべ きと考えるが。

町　長　検討する。

◎ 水害時、逃げ遅れゼロ対策は

薄 井　各戸の避難先を把握している自主防災会はいくつあるか。

総務課長　各戸の避難先は自主防災会の役員で把握いただくので町は情報を持っていない。

薄 井　町のマイタイムライン用紙は各戸の避難先を記入する場合、書きにくいと思われる。マイタイムライン用紙の変更を検討しないか。

総務課長　検討する。

薄 井　マイタイムライン用紙が各戸に配布されたが、その後の町の取り組みがないことが自主防災会で各戸の避難先を十分に把握できていない原因の一と考える。そこで、町の取り組みとして次の2点を問う。

① 町はマイタイムライン用紙を各戸に再配布し、各自主防災会に対し、各戸が記入したマイタイムライン用紙を回収するよう依頼すること。

② 町は各自主防災会に対し、回収されたマイタイムライン用紙を集計し、町の指定避難所への避難者の合計数を町に報告するよう依頼すること。

総務課長　個人情報を含んでいるので実施の考えはない。①は自主防災会の考えでの実施は可能である。

9月議会報告

9月議会は9月4日から21日まで行われました。令和4年度決算の認定、令和5年度一般会計補正予算など認定5件、議案7件を審査し、全て認定・可決しました。陳情4件・請願2件を審査し、4件を採択2件を継続審査としました。また、予算決算特別委員会審議を通じて重要な７項目を「議会意見書」として町長に提出、10月23日までの回答を求めました。

◎ 令和５年度一般会計補正予算

○補正額　5,454万円
○審査結果：全議員の賛成で可決
≪補正予算の主な内容≫
・10年後農地の担い手を明らかにする地域計画作成委託料　316万円
・保育園オムツ処理機購入　149万円
・旧北保育園アスベスト調査　66万円
・ハーブセンター東 足湯改修　66万円
・第二次行革推進委員会費　8万円
・ハーブセンター東指定管理者選考委員報酬　2万円
・まちなか賑わい拠点施設指定管理者選考委員会報酬　2万円

◎陳情　「移住促進関係補助金及び下水道引き込み工事費の見直しを求める陳情」

○陳情：町空き家等利活用連絡会
○内容：補助金の減額を復活し、下水道引き込み工事費を町負担とする。
○審査結果：全議員の賛成で採択
〈参考〉
・解体・新築補助金
池田町：50万円（R3）⇒20万円(R4)
松川村、生坂村：　100万円
・下水道引き込み工事負担
池田町⇒施主負担
松川村、大町市、生坂村⇒行政負担

◎陳情　「現行の健康保険証を残すよう国に意見書提出を求める陳情」

○陳情者：大北生活と健康を守る会
○　〃　：長野県保険医療協会
○審査結果：継続審査
【総務福祉委員会の審査意見】
・継続審査（3人）：町でのマイナ保険証によるトラブルが起きていないので継続審査としたい。
・採択すべき（2人）：マイナ保険証は強制すべきでなく、健康保険証は残すべきである。資格確認書の発行は高齢者などで手続きに困難さがあり、無保険者を産む恐れもある。更に、財政負担も生ずる。

一般質問

服部久子

◎ 就学援助の基準額の引き上げを ！

服 部　町は、数年前に就学援助基準を生活保護費の1.5倍から1.2倍に下げた。最近の物価高で子育世帯の生活は厳しくなっている。就学援助基準を生活保護費の1.5倍に上げるよう求める。

町 長　町は物価高を考慮し令和2年度から1.5倍以内で運用しており、来年度も考えていく。

◎ 3歳未満児保育料の軽減を ！

服 部　町の3歳未満児の保育料は大北地域内で高額である。松川村の3階層の保育料は池田町の半額である。前回、軽減を求めたところ町長は「総合的に考えてそういう方向付けが良ければ、そういう方向で行きたいと思っている」と回答した。軽減を進めるのか。

町　長　近隣と比べて当町は高いと認識しており、軽減する方向で検討する。

服 部　実施時期と軽減額はどうか。

町 長　来年度当初から実施し、軽減額は考える。

◎ ヤングケアラ―の調査の結果と対策は

服　部　県のヤングケアラ―の調査で池田町の結果は。

教育長　県の調査でヤングケアラ―に該当する設問に丸をした児童生徒が3人いた。その児童生徒に、教育委員会と多世代相談センターの職員が状況を聞いた。3人とも支援が必要な状況でないと判断し、様子をしっかり見ていく対応とした。

服　部　児童生徒は、自分がヤングケアラ―という認識がなく相談しないので、支援につながらない。学校生活で遅刻が多い、宿題を忘れる、居眠りをする、部活をしないなど、教師や友人などの気づきで把握のきっかけになる。学校、教育委員会、健康福祉課、民生委員など関係機関が連携した対策を求めるが。

教育長　連携し取り組む。

ヤングケアラーの例

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。

服　部　ヤングケアラ―の認識を広めるため、児童生徒と住民向けのパンフレットの配布を求める。また、子どもが相談し易いようにラインで受けたり、メッセージでの対応を求める。

健康福祉課長　１０月に開催予定の要保護児童対策協議会で協議していく。

◎ 難聴者への補聴器購入補助とヒアリングループの導入を ！

服　部　難聴者の社会参加を進め、健康寿命を保つために補聴器購入補助を求める。大北地域で大町市と松川村が補助を実施している。

町 長　子どもの補聴器支援を優先させたい。補聴器購入が困難ということは生活困窮があると捉え、健康福祉課につないでいく。

服　部　「軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業」は難聴の18歳未満の子どもに補聴器の着用を支援する事業で小谷・白馬・松川が実施している。池田町も実施を。

町 長　来年度の予算化を検討する。

服　部　難聴者のために会議などに参加できるヒアリングループがある。松川村、大町市でも対応している。池田町も整備を求める。

健康福祉課長　今後、松川村から借りて住民の意見を聞きたい。

≪議会意見書≫

①積極的な人口増（人口減）対策を明らかにすること。特に、町土地利用調整基本計画を人口増の観点から早期に見直すこと。

②農業振興の「地域計画」策定に万全な体制を構築すること。町農業振興協議会は町農業者の考えを十分配慮した運営ができるよう進めること。

③イノシシ・シカ・サルなどの鳥獣被害対策を近隣自治体と連携し取り組みを強化すること。

④池田松川学校給食センターで使用する給食米の池田町産米を増やすよう取り組むこと。

⑤町職員として建築・土木などの専門技術員を採用すること。また町内で建築・土木などで造詣の深い方の活用を検討すること。

⑥地域交流センター東の空き地の利用方針を明確にすること。

⑦保育士確保のため保育士の給料改善に努めること。

◎請願 「更なる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育国庫負担制度の堅持と拡充」を求める請願書

○請願者　：長野県教職員組合大北支部
○審査結果：採択
○国に意見書送付

◎請願 「へき地教育振興法に鑑みへき地手当て等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書

○請願者　：長野県教職員組合大北支部
○審査結果：採択
○県に意見書送付

◎陳情 「私立学校に対する公費助成をお願いする陳情書」

○請願者：中信地区私学助成推進協議会
○審査結果：採択
○国・県に意見書送付